



# WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

第3号 August 15, 2007

- ジョークの心得三か条：1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。  
2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。  
3. ジョークは簡潔が至上です。

今月のエッセー

## A little language goes a long way!

浦 聖治



1976年パイオニア㈱の海外研修制度でカリフォルニアに渡った。初めての海外経験だった。

自己流の勉強だったが、日常会話には自信が出始めていた。ところが現地法人でのOJTが始まると、聞き取り能力の乏しさに愕然とした。相手が何を言っているのか、皆目検討が付かない。

同期で渡航した国際部出身の先輩に「今何て言った」と聞くと、自分で“Pardon me?”と聞きなさい、とたしなめられた。

しかし“Pardon me?”の連続では会話にならないう。電話での用のときは、予め原稿を書いておいて、相手が喋りだす暇もなく一気に原稿を読み上げ用件を伝えるなど懸命な工夫もした。

対面の会話となると、そうは行かない。そこで思い付いたのがジョークを使うことだった。気の利いたジョークを話して、そこそこインテリジェンスはあることを理解してもらった上で会話を始めるのか、初めから身振り手振りで始めるかでは大きな違いがあるだろう。そう考えた。

そこでプレイボーイ誌から自分でも“笑える”ジョークを選んで試すことにした。最初に憶えたジョークは、何度も繰り返し話した為か、30年後の今でも記憶に鮮明だ。

An Indian family moved from a reservation to a city. After the first day in school, the youngest son asked his father.

“Dad, why is my name so different from other children?”

“Well, my son, we have an old, old traditional way of naming children. We name children after certain animals, or certain birds, or sometimes certain occasions linked to their birth. That is why your brother is named Roaring Lion and your sister is named Leaping Fawn. Does that answer your question, Broken Rubber?”

下手なジョークでも、話そうとする“精神”は理解して貰えたようだ。全く聞き取りが出来なかった渡米後の3ヶ月には友人が出来始めた。FEN放送の日本語講師ヒロコ・クボタのキヤッチフレーズ“A little language goes a long way!”を地で経験させてもらった。

これに味をしめ、今度はポーランド人ジョークに挑戦した。エスニック・ジョークはリスキーだと言われるが、思いのほかポーランド人ジョークの好きなポーランド系の人がいったりして救われた。

【例】Did you hear about the Polish man that locked his keys in his car? He had to use a coat hanger to get his family out.

ポーランド人ジョークにも多くのバラエティがあり、“奥深さ”を感じます。次回話題に詰まったときには是非とも試させてください。

今月のジョーク

‘When I first said I wanted to be a comedian, everybody laughed. They’re not laughing now.’  
(Bob Monkhouse)

第3回研究発表会

The Pun is Mightier than the Sword

—英語のしゃれ—

豊田 一男

1. しゃれ(pun)は概ね評判が悪く、“the lowest form of humor [wit]” (ユーマア[ウイット]の最も低級な形式)などと言われることがある。

しかし、“Of puns it has been said that those most dislike who are least able to utter them.” (しゃれについてはしゃれを最も言えない連中がしゃれを最も嫌うと言われてきた。) という Edgar Allan Poe のことばもあり、しゃれ好きを勇気づけてくれる。

2. Pun は大きく3つに分類される。

(1) 多義語・同音同綴語に基づくもの、

(2) 同音異綴語に基づくもの、

(3) 類似音に基づくもの、の3つである。

いくつか実例をあげてみよう。

(1) の実例:

• change

When his wife said she was going to change the baby, he said: “Well, get a quieter one.” (奥方が「赤ちゃんのおむつを取り替えるわ」と言うと、旦那いわく「もっと静かなのにしてくれ」)

旦那は change babies (赤ん坊を取り替える)と受け取ったため、「(家の赤ん坊は泣いてばかりいてうるさいから、) もっと静かな赤ん坊と取り替えてくれ」と言っている。

• youth

A woman has to keep her youth if she wants her youth. (女性は、若者をそばに置いておきたければ、自分の若さを保たねばならない; 女性は若さを保ちたければ若者をそばに置いておかねば

ならない)と、youth の「若さ; (男性の) 若者」のしゃれになっっている。2通りに解釈できるところが面白い。

(2) の実例:

• navel

High school girl: What kind of a doctor are you?  
(あなたは何のお医者さんですか)

Officer: I am a naval surgeon.

(海軍の外科医です)

High school girl: Goodness, how you doctors do specialize! (まあ、なんてご専門なんでしょう!)  
女子高生は naval (海軍の)を navel(へそ)と取り違えて、へそ専門医なんてまあいいと言っている。

(3) の実例:

• look

Before marriage, a man thinks about the way she looks; after marriage, about the way she cooks.

(結婚前、男は彼女の容姿について考え、結婚後は料理振りを考える。)

looks と cooks の類似音 (語頭韻転換) によるしゃれになっっている。

(4) 筆者のお気に入り:

Aging is a matter of mind. If you don't mind it doesn't matter. (老化は気持ちの問題だ。気にしなければ問題ではない。)

matter 「問題; 重要である」、mind 「精神; 気にする」のしゃれになっっていて、しかも、matter, mind の順も互い違いになっっていて、筆者は内容的にも傑作だと思っっている。

なお、この記事のタイトルが、The pen is mightier than the sword. (ペンは剣より強し) ということわざの、pen を pun にしたしゃれになっっていることに気づかれましたか。

[参考] 拙著『英語しゃれ辞典 Punctuationary』(研究社 2003)

### 第3回研究発表会

## 時事英語にみるジョーク

小池 温

Playboy 誌 Party Jokes の Blonde Jokes や古典的な Waiter Jokes は大声で笑えるものが多いが、私が時事英語学会やインターネットで最近発表した時事英語のジョークは、クスツと笑う程度である。それでもその時々々の政治・経済・社会的な背景が窺えるのがミソだと思う。

(1) The very mention of her name is said to trigger the chorus "Door to Manual" among the Prince's more hoorayish friends, who refer to her as "Mrs Meddleton" for her scheming to get her daughter married into the country's first family. (*The Times*. Apr.17)

英国ウイリアム王子とケイト・ミドルトン (Kate Middleton) さんの破局の原因を、ザ・タイムズ紙は、英国に根強く残っている階級意識であり、特に民間人の母親であるキャロルさんの言動が批判されたからだとして報じている。

キャロルさんは、上流階級のように "lavatory" と言わず "toilet" と言った。エリザベス女王にも "Pleased to meet you" でなく、"Hello ma'am" と言うべきであった。王子の軍服での行進パレードの時にガムをかんんでいた。ケイトさんへの「おせっかい」(meddle) が多かったので、Mrs Middleton でなく Mrs Meddleton と王子の友人から呼ばれた。

最近仲直りしたとの報道もあるが、私は一昨日までロンドンに滞在、タブロイド紙を毎日みていたが、報道規制が厳しいのか仲直り説は見つからなかった。

(2) The trouble is that her only vision for

France is herself. Hence, her nickname:

Egolène. (*Economist*. May 7)

フランスの大統領候補だった Ségolène Royal 議員は、外交には関心薄く自己中心 (Ego) なので、ニツクネームで Egolène と呼ばれた。

(3) A raft of "Dianistas" are modeling themselves on the "People's Princess."

(*Herald Tribune*. Jan.9)

ヨーロッパの王妃達はおしゃれだったダイアナ妃を慕う Daianistas である。フアツションに熱心な人 fashionistas の連想語。

(4) Dice-K 松坂大輔投手。今や日本でもこう呼ばれるが、昨年 12 月 26 日のヘラルド紙で早々と見つけた。K は strikeout の K でなく、struck out の K だと思う。

(5) Londongrad 元ロシア KGB のリトビネンコ氏が毒殺されたが、ロンドン在住のロシア人が関与か。ロシアの都市には Stalingrad のように "grad" の付く都市が多いので、ロンドンは Londongrad と呼ばれる。

(6) Ah-mad-in-a-head イランの Ahmadinejad 大統領は、核開発等強硬政治で欧米から非難されているが、名前は分解し、Ah-mad-in-a-head (ああ！アタマが狂っている) とも読める。

(7) GasPutin ロシアのプーチン大統領は、石油・天然ガスを供給している近隣諸国への政治的圧力を強めているので、ニコラス 2 世時代の怪僧 (Rasputin) にぞらえ、GasPutin と呼ばれる。

(8) TomKat 米人気男優 Tom Cruise の 3 人目の妻は、17 歳年下の Katie Holmes であるが、2 人は "TomKat" と呼ばれる。"tomcat" は「女たらし」の意味になるので要注意。

(9) size zero model 欧米のファッション界でいま人気のあるモデルは、サツカーのベツカム夫人のピエクトリアのような「ガリガリに痩せた」モデルである。

## どうぞよろしく=会員紹介アンケート=

氏名・住所に続いて、①私にとってジョークとは、②私のお気に入りジョーク、の順。 (到着順に掲載)

**橋本貴成** 東京都杉並区 ①生活の中の箸休み。②Similarity between grocery bags and Michael Jackson. They are both white and plastic, and both are dangerous for children to play with.

**竹中 善** (たけなか・ほまれ) 東京都世田谷区成城 ①私にとってジョークは、異文化コミュニケーションのため効果的なツールであるとの実感が強い。②Everybody knew who Babe Ruth was. Asked his opinion of Babe Ruth, George Bernard Shaw replied "What does she do?" The Italian tenor Enrico Caruso said he could not pass his judgement on Babe Ruth because "I have never heard her sing." 誰でもが多様な情報を容易に入手し、発信出来る現代社会の危うさを痛快につくこのジョークは、今生まれたばかりのように新鮮である。**板本真樹** (いたもと・まさき) 埼玉県朝霞市 ①ストレス解消。②「滑舌の悪い男の受難」。あるところにとでも滑舌の悪い男がいました。ある日、友人たちと飲み屋にでかけることになりました。運悪くその日はバイクで来ていて、お酒を一滴も飲めませんでしたが、楽しいお喋りと、美味しい食事に満足してお店を後にしました。友人たちと別れ、さて帰ろうとした時、警察官に呼び止められました。「飲み屋から出てきてバイクに乗ろうとするなんていい度胸だ」「待っててください、僕は一滴もお酒は飲んでません」。聞かや否や、警察官は怒り出しました「おまえ、へべれけじゃないか!」。

**大平 麻衣子** 神奈川県横浜市 ①奥が深すぎてまだまだ未知数です。②恩師・宮本先生から学生時代聞いた話で未だに思い出す、クリントン大統領と森総理の会話。森総理：Who are you? (How are you? と間違えて) クリントン：I'm Hillary's husband. How about you? 森総理：Me too. 例え話ですが、“ジョーク”って感じがやたら印象に残っています。

**田中慎也** 千葉県山武郡大網白里町 ①心の潤滑油、さび止め、明日を思う活力源。②私の初恋のジョーク：ある出版社のパーテイナーで著名なジャーナリストが引用された次のようなジョーク：When a boy, I learned English at a night school. So I can't speak English well in the day time. でも、話されたのは黄昏時でした。

**寺下敬敏** 埼玉県所沢市 ①人生を楽しく、明るく生きる活力の源。②もう昔のことですが、傘のCMの「何である」「アインデアル」です。傘の商品名のアインデアルは「理想、完璧」の意味を意図したものでしょうが、「I」である」と日英語を交えたジョークは傑作で、CMの出演者であった故・植木等のコミカルな言動もびつたりはまっています。

## 第4回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。同好の士にも、お声をおかけください。

- 日時：9月22日(土) 午後1時-3時
- 場所：クオリテイ株式会社8階会議室 (千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル)
- 交通：地下鉄・有楽町線麴町駅1番出口より徒歩2分。詳しくは、<http://www.quality.co.jp/> で。
- 発表者：竹中 善会員「ジョークと職場」相原悦夫会員「キヲモノ英語のジョーク」
- 参加費：会員無料、非会員500円

## お知らせ

長い間、宮本倫好氏が担当してきた、朝日出版社のメールマガジン「笑える英語の実践講座」の執筆を、本会が引き継ぐことになりました。新しい執筆者グループは、相原悦夫、佐川光徳、豊田一男、宮本倫好、井谷善恵の五名。7月17日配信分から再スタートしています。

送信を希望される方は、同社のホームページ <http://www.asahipress.com> で会員登録をしてください。(毎週火曜日夕方配信)

**WE, JOKERS** 英語のジョークを楽しむ会会報 第3号  
発行日：2007年8月15日  
発行人：世話人代表 宮本倫好  
編集人：佐川光徳  
発行所：英語のジョークを楽しむ会  
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル  
クオリテイ株式会社 気付  
TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130  
e-mail: [eigojoker@yahoo.co.jp](mailto:eigojoker@yahoo.co.jp)